

ときめき人

Tokimeki bito

団結力を武器に全国で躍進



| 氏名 | 学年 | 登録メンバー | 氏名 | 学年 |
|-------|----|--------|-------|----|
| 高木 颯牙 | 2年 | | 主藤 海里 | 2年 |
| 岩淵 岳琉 | 2年 | | 渡邊 遥翔 | 1年 |
| 菅原 遥太 | 2年 | | 川口 武寿 | 1年 |
| 鈴木 棟萬 | 2年 | | 菅原 悠斗 | 1年 |
| 高橋 侑悟 | 2年 | | 真山 朔 | 1年 |

※学年は大会開催時

IBA - boys全国中学生軟式野球大会 3位

佐沼中野球部

「第24回IBA - boys全国中学生軟式野球大会」(日本ポニーベースボール協会主催)は3月19、20の両日、千葉県柏市を会場に開かれ、佐沼中野球部(佐々木基治代表)が3位入賞を果たした。

佐沼中野球部は、仙台育英学園高硬式野球部で活躍する尾形樹人選手と高橋煌稀選手が所属していた3年前にも同大会への出場権をつかんだが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。戦うこともかなわずに悔しい思いを残した。

今回、3年ぶりに全国への扉を開いた佐沼中野球部の部員は10人。人数は少ないが、高木主将、エース岩淵、1年生川口の3人の投手を中心にチーム丸となって粘り強く戦う。指導する田口俊輔監督は「選手たちが自分で考え、自ら練習に取

り組むようなチームづくりを心がけている」と自主性を重視し、野球の技術向上だけでなく人間性の育成にも力を入れてきた。

迎えた全国大会初戦、緊張から動きが硬くなるが、選手同士で声をかけ合うなど、少数だからこそこの団結力を武器に勝利を重ねる。準決勝では、全国優勝することになる強豪相手に岩淵が好投するも0対1で惜敗。田口監督は「大舞台でも思いっきりプレーして、本当によく戦ってくれた」と振り返り、選手たちをたたえた。

「全国優勝した相手といい試合ができたので自信になりました。次は市の中総体で優勝したいです」と力を込める高木主将。佐沼中野球部の新たな歴史を刻む戦いの幕が上がる。

編集後記

▼4年ぶりに柳津地区に戻ってきたお囃子の音色。ファイナダー越しに見える笑顔に元気をもらいながらシャッターを切りました。5月8日に新型コロナウイルスの感染症上の位置付けが5類に引き下げられ、以前のようないろんな光景が戻ってくると思うとワクワクが止まりません。(高橋)

▼配属されて初めての寄り添い半世紀の取材。不慣れた私の質問に丁寧にお答えいただき、感謝の念でいっぱいです。気の置けない二人の姿に、理想の夫婦とはこのことだと感心しながら、明るく和やかな雰囲気と一緒にいる私も元気があふれてきました。(木戸浦)

▼お気づきの人もいると思いますが「わが家のアイドル」の募集は不定期です。応募多数で掲載まで数カ月お待ちいただいている状況のため、心苦しいのですが今月は募集をお休みします。お送りいただく写真はみんな本当にめんこくて、癒やしの極みです。ありがとうございます。(渡邊)



登米市公式ホームページ
(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。)https://www.city.tomeimiyagi.jp/



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
https://mail.cous.jp/tomeicity/